

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	児) ぼんぼこはうすluce		公表日		令和8年 5月 7日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	死角になる所があるのでその付近に必ず職員を配置している。 職員に役割を設けて適切な対応をしている。 大部屋など見守りしやすく、児童も活動しやすくしている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	3	職員がや役割を持ち、児童の状態を把握できるようにしている。	利用人数に対して職員が少ない気がする。 送迎時に職員が減る。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	1	階段の幅が少し狭いのですべり止めマットをつけている。	階段がある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0	アルコール消毒や毎日の清掃を行っている。 常に換気できている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	1	パーテーションで区切られている。	児童が自由に使えるスペースではなく、職員のみ使える場所がある。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	1	毎朝ミーティングを行い、前日の振り返りをしている。	定期的ではない。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	1	3	保護者向けアンケートを実施している。	末端の職員は内容を知らされていない。 評価表を実際に見ていない。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	毎朝のミーティングで意見交換している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	2		不明。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	定期的に受ける機会がある。 委員会を立ち上げて研修が行われている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0	支援計画書の作成をしている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4	0	モニタリングを行い、ニーズを確認している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	支援計画を作成する前に会議をしている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	いつでも目を通せるようにしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	1	毎日の業務日誌で全員が確認できるようにしている。	わからない。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0	モニタリング、会議などで具体的に支援内容を設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2	2	ミーティング、会議で複数人で話し合っている。	行っていない。

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	1	週ごとに変更している。 日々のミーティングで意見交換している。	わからない。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	3	1	状況に応じて個別に活動できるスペースも設けている。	個別活動が少ない。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	毎朝ミーティングをしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	2		必ずできているわけではない。 次の日の朝にしている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	1		記録をとるまではしていない。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	モニタリングで保護者のニーズなどを確認している。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	担当者かつ、関わる職員からの情報も集めている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1	連絡簿などすぐに確認できるようにしている。	連携しているかわからない。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	0		こちらは歩み寄っているが、学校や園側があまり協力的ではない印象を受ける。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	0	紙面で情報を出し、すぐに共有できるようにしている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	3	1		連携しているかわからない。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	3	1		助言を受けているかわからない。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	3	1		自分自身はあまり参加していない。
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	1	状況に応じて連絡をとり、迅速に対応できるよう努めている。	連携しているかわからない。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	2		したいが機会がない。他の事業所であるなら教えてほしい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	帰り送迎時や、モニタリングで児童の情報を共有している。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	3	モニタリングで事業所内での様子や支援内容を共有している。	家族支援も行っているが、対応や方法が難しい。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	契約時に行われている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	半年に一回以上モニタリングを行っている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	3	1	紙面で確認してもらい同意を得ている。	示しながらの説明まではできていない。

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	できる職員は限られているが行われている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	4		保護者同士が交流する機会は、ぼんぼこはうすからは提供されていない。 参観日のようなものが必要かもしれない。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	直ぐに連絡がとれる状態であり、迅速に対応している。	できる職員は限られている。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	0	ホームページやSNSを通じて発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	取扱い場所を限定し、社外に出ないようにしている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	絵カードなどで意思の疎通ができるようにしている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	2	地域の子どもたちとともに公園で遊んだりすることもある。	行っているかわからない。
	非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	1	各委員会で作成している。
46		業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0	年に2回避難訓練をしている。	
47		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	0	保護者からの情報などで確認している。	
48		食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0	保護者からの情報をもとに対応している。	
49		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	1	定期的に見直しも行われている。	安全計画がわからない。
50		こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	2	モニタリング時に説明し、周知している。	わからない。
51		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	毎朝のミーティングで行っている。	
52		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	職員全員で研修会を行っている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	1	可能性がある場合は、事前に説明を行い周知している。		